

平成 21 年 2 月 12 日

各 位

会社名 株式会社 精工技研
 代表者名 代表取締役社長 上野昌利
 (コード番号 6834)
 問合せ先 経営企画室 斎藤祐司
 (TEL. 047 - 388 - 6401)

業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 11 月 13 日に公表した業績予想および平成 20 年 5 月 15 日に公表した期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期通期業績予想の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想数値の修正

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,620	百万円 △310	百万円 △170	百万円 △180	円 銭 △19 57
今回発表予想 (B)	6,594	△607	△468	△764	△83 21
増減額 (B - A)	△1,026	△297	△298	△584	—
増減率 (%)	△13.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	7,148	△426	△540	△1,071	△116 35

(2) 個別業績予想数値の修正

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,340	百万円 △560	百万円 △230	百万円 △240	円 銭 △26 09
今回発表予想 (B)	5,348	△933	△594	△865	△94 21
増減額 (B - A)	△992	△373	△364	△625	—
増減率 (%)	△15.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	6,149	△546	△697	△1,137	△123 45

2. 修正の理由

(1) 個別業績について

世界的な金融危機を背景とする景気の後退は第 3 四半期に入るとその加速度を増し、情報・通信、デジタル家電関連業界においては、企業業績が大幅に悪化することとなりました。需要の低迷から光ディスク成形用金型や光通信用部品等の主力製品の販売が落ち込み、売上高は前回予想を大きく下回る見通しであります。利益面につきましては、原価改善や経費削減等の収益改善活動に取り組んでいるものの、固定資産の減損損失の計上等が収益を圧迫することが見込まれています。

この結果、前回予想に対して売上高は 992 百万円、営業利益は 373 百万円、経常利益は 364 百万円、当期純利益は 625 百万円、それぞれ下回る見込みであります。

(2) 連結業績について

連結の通期業績予想に関しましては、個別業績の修正理由に加え、為替が想定以上に円高で推移しているため外貨建売上高の円換算額が減少する見通しであります。

この結果、前回予想に対して売上高は1,026百万円、営業利益は297百万円、経常利益は298百万円、当期純利益は584百万円、それぞれ下回る見込みであります。

3. 平成21年3月期配当予想修正

(1) 修正の内容

	1株当たり配当金		
	中間	期末	年間
前回予想 (平成20年5月15日発表)	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 30.00
今回修正予想	—	15.00	15.00
(参考) 前期実績 (平成20年3月期)	—	30.00	30.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元につきましては、将来の投資に備えるための内部留保を考慮しながらも、株主の皆様に対して安定した配当を継続的に行うことを基本としております。しかしながら、平成21年3月期の業績予想を鑑み、誠に遺憾ではございますが期末配当予想を15円減額し、15円とさせていただきます。

今後は業績の回復に注力し、安定的に収益を確保できる事業体質を速やかに確立すべく、全社一丸となって努力してまいりますので、引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※ 上記予想に関する留意事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであります。最終の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上